



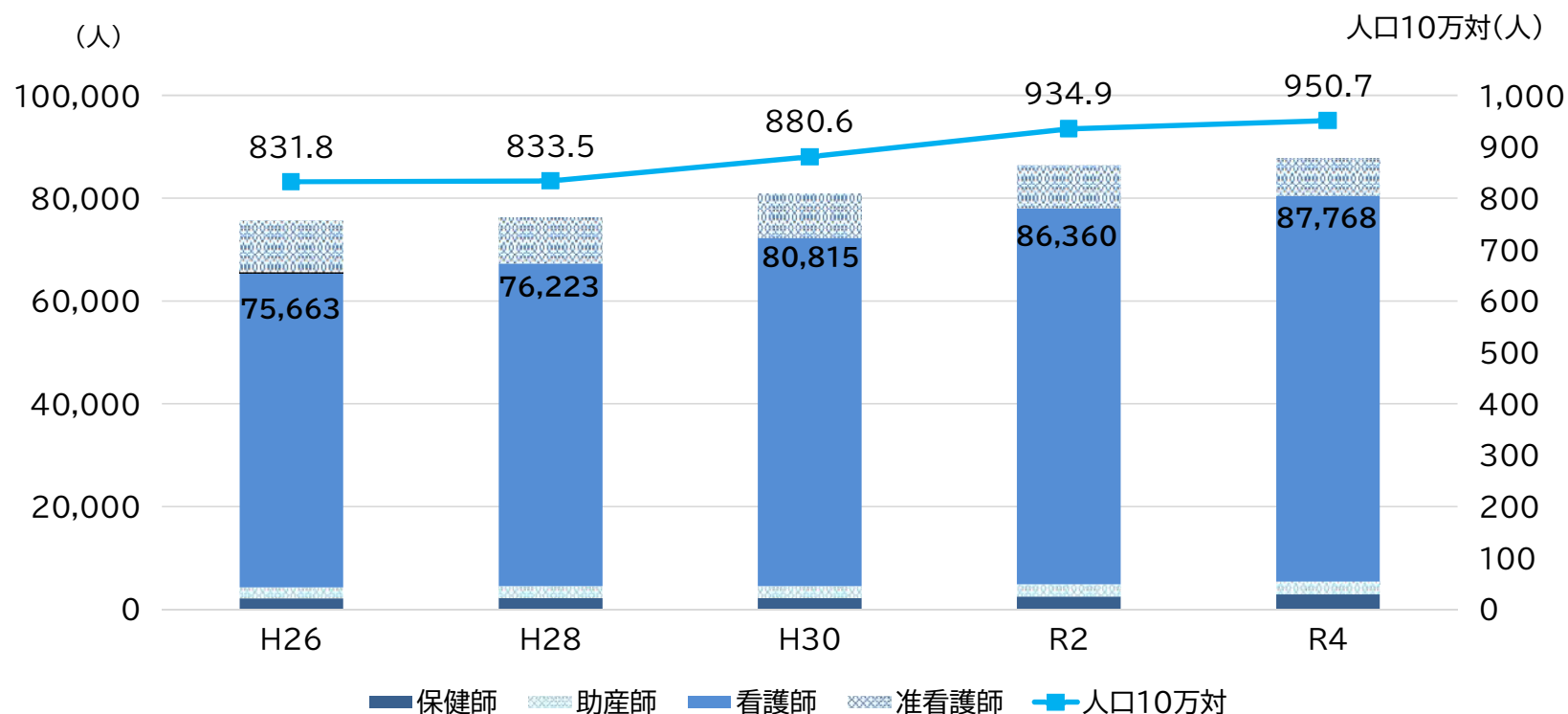
報告資料3

看護職員就業実態調査結果及び 医療従事者届結果(概要)

医療整備・人材課
2024.8.27

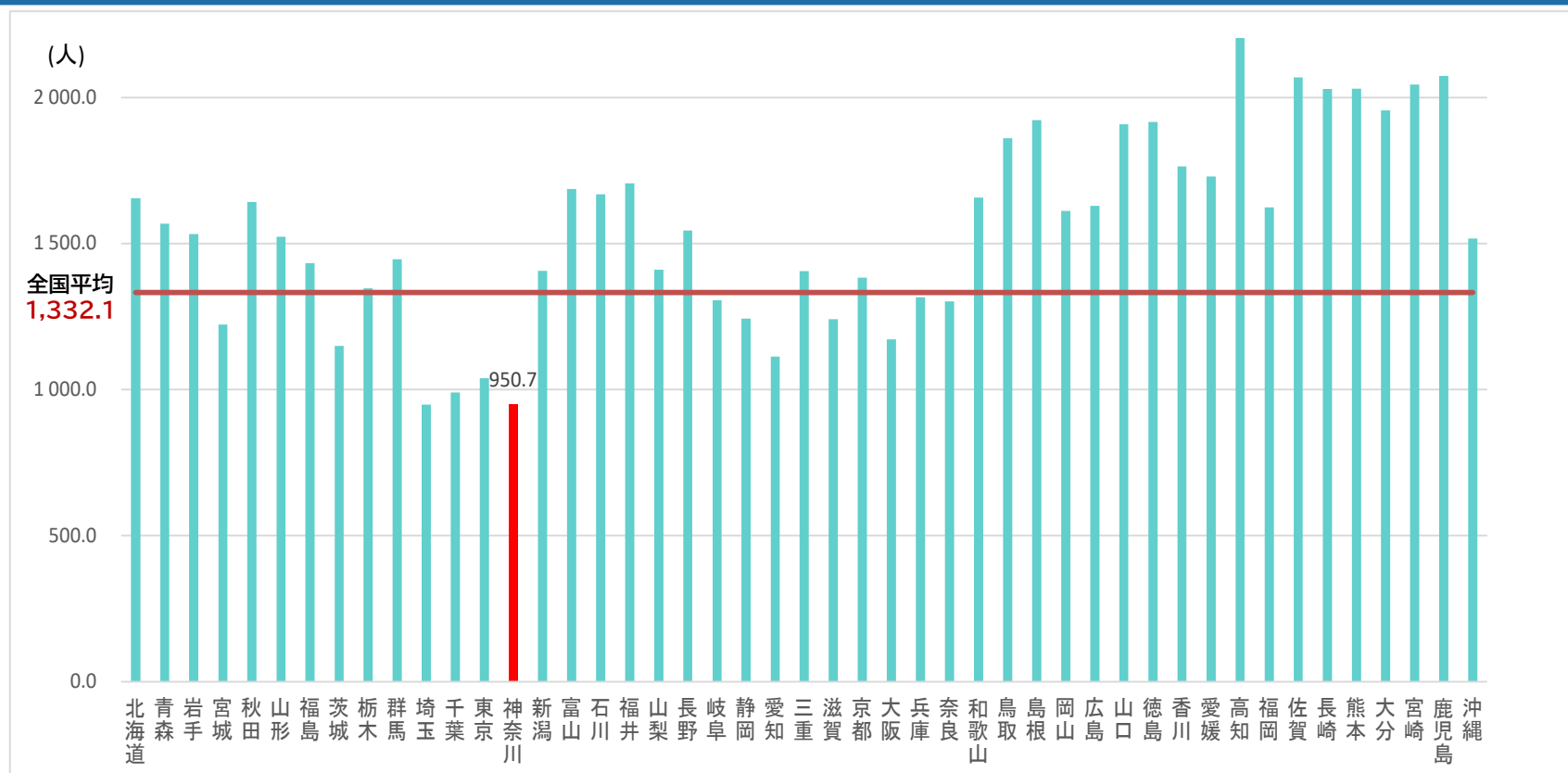
1 看護職員数について ①就業看護職員数の推移

本県の就業看護職員数は年々増加しており、令和4年12月末時点で87,768人
本県の人口10万人当たりの就業看護職員数は、950.7人。



1 看護職員数について ②人口10万対就業看護職員数

人口10万人当たりの就業看護職員数は、全国の1,332.1人に対し、本県は950.7人であり、全国46位となっています。

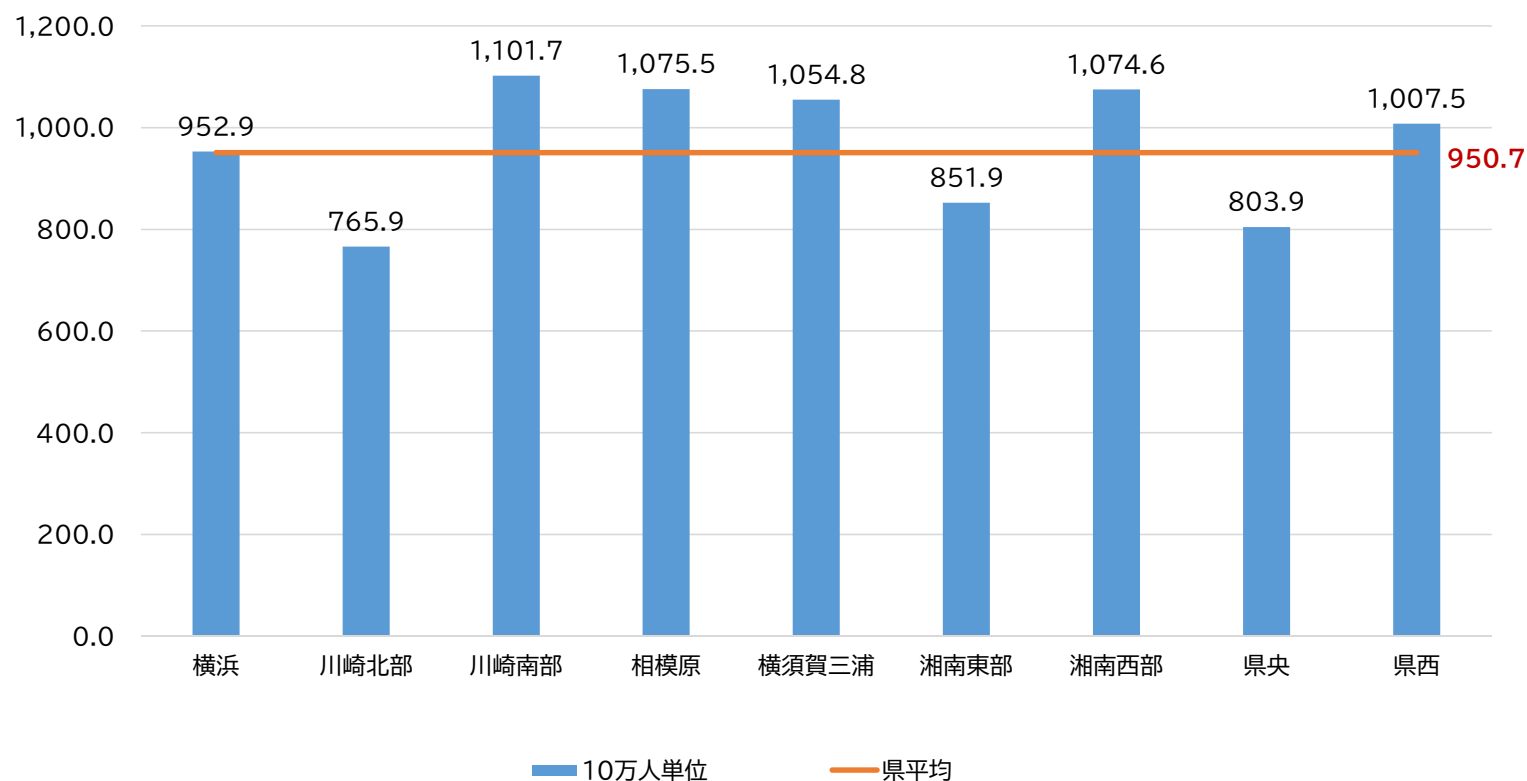


Kanagawa Prefectural Government

(出典)厚生労働省「R4衛生行政報告例(就業医療関係者)」

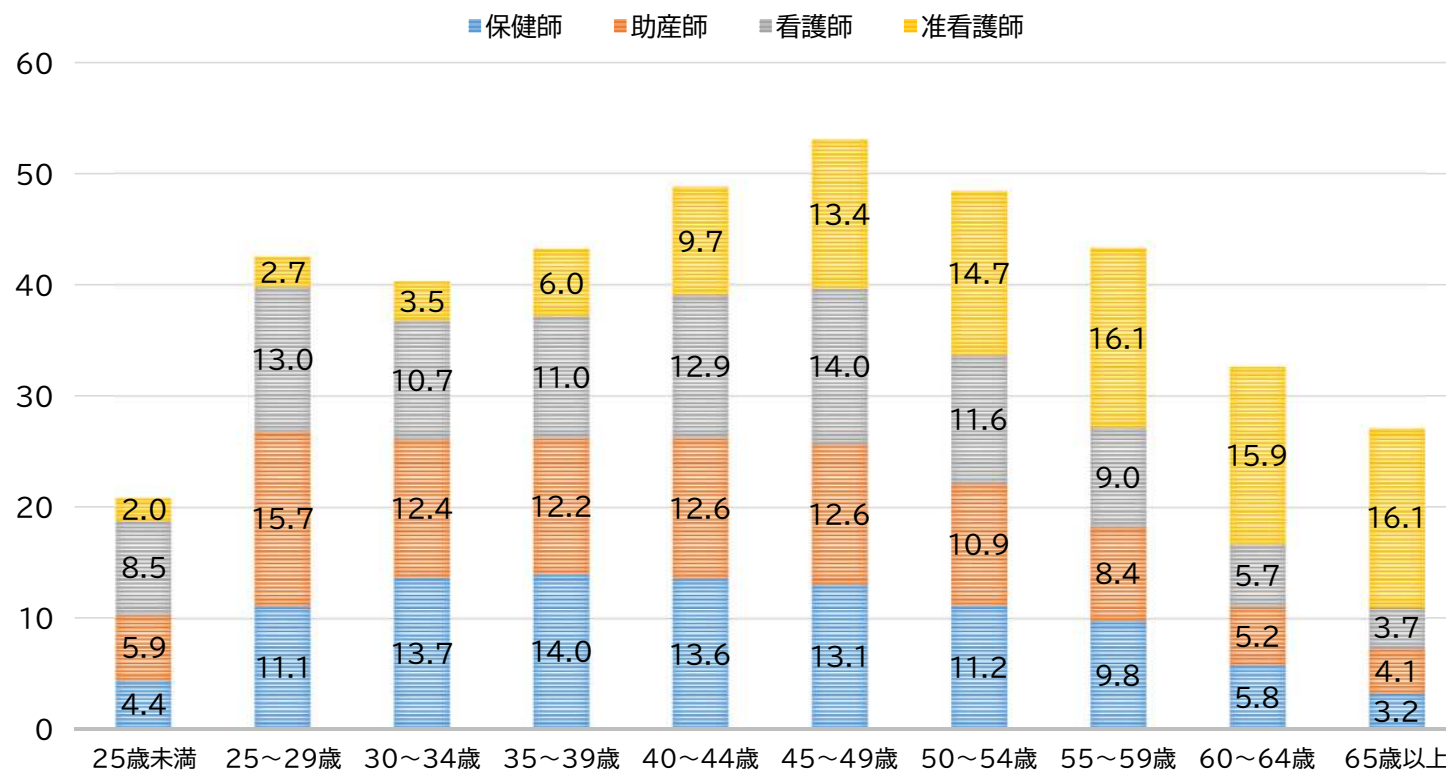
1 看護職員数について ③人口10 万対二次保健医療圏別就業看護職員数

人口10 万人当たりの就業看護職員数は、二次保健医療圏別に偏在があり、川崎北部、県央、湘南東部で県平均を下回っています。



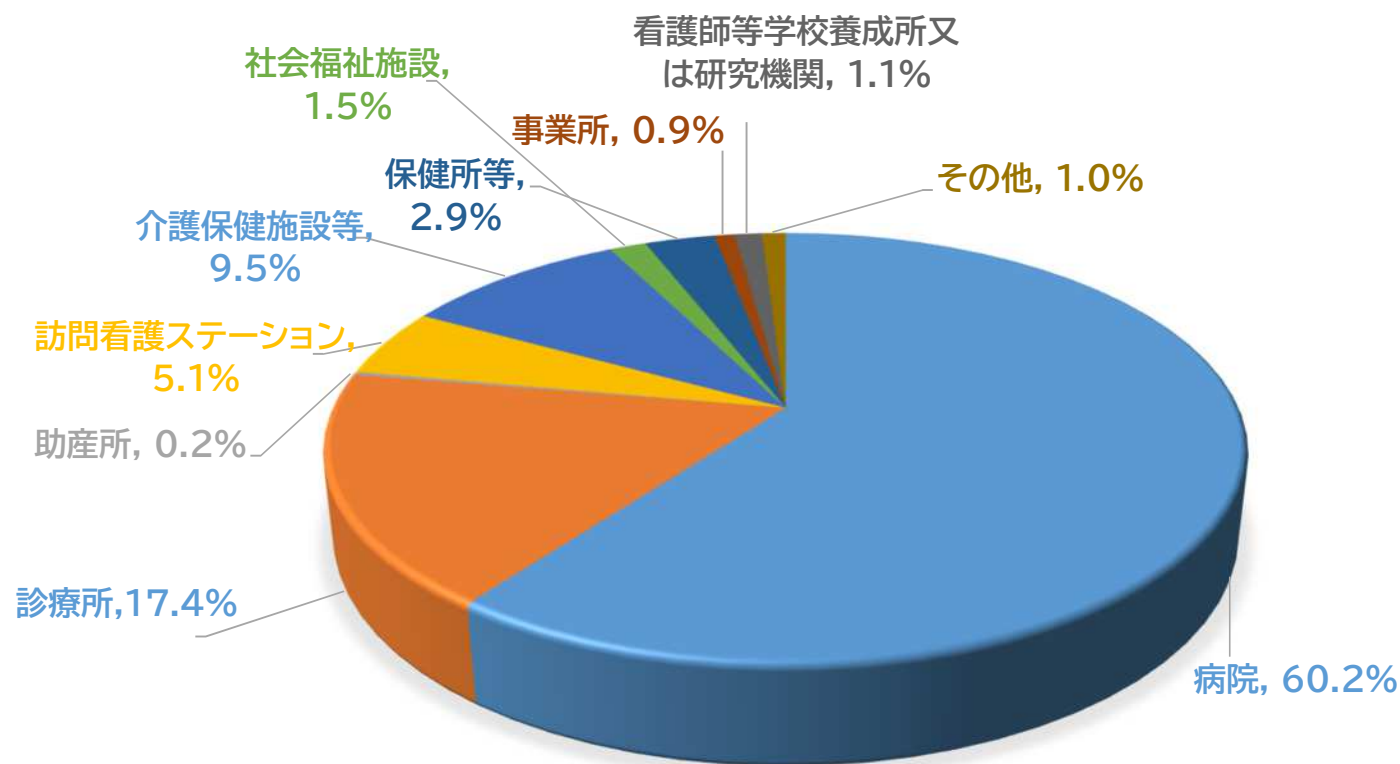
2 就業状況について ①年齢階級別就業者割合

年齢階級別の就業者は保健師で30～49歳、助産師で25～49歳、看護師で25～29歳と40～49歳、准看護師で45～65歳以上が多くなっています。



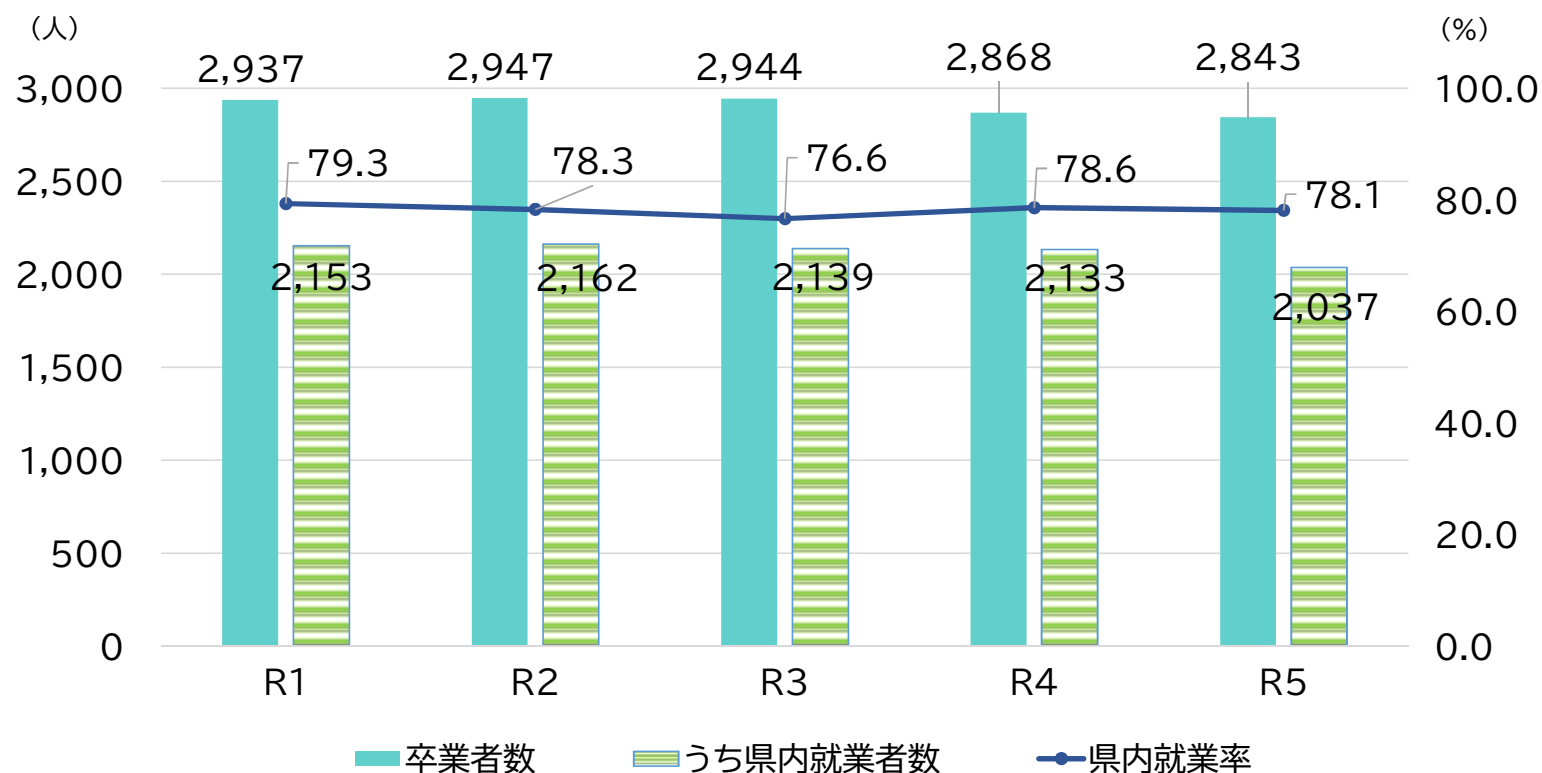
2 就業状況について ②就業場所別就業人数割合

就業場所別の看護職員数を見ると病院が52,830人(60.2%)、診療所が15,311人(17.4%)介護保健施設等が8,324人(9.5%)となっています。



3 看護職員養成について ①看護師等学校養成所の卒業者数及び県内就業率

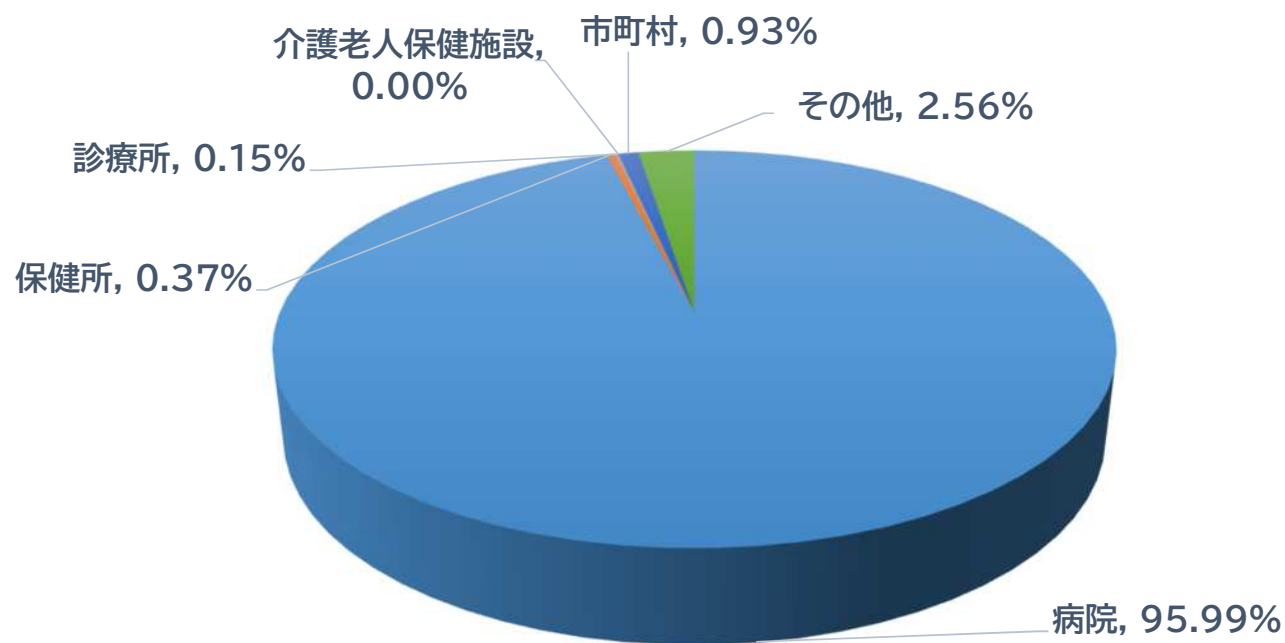
本県では年間2,800人前後の看護職員を養成しており、うち約2,000人が県内に就業しています。



(出典)「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」

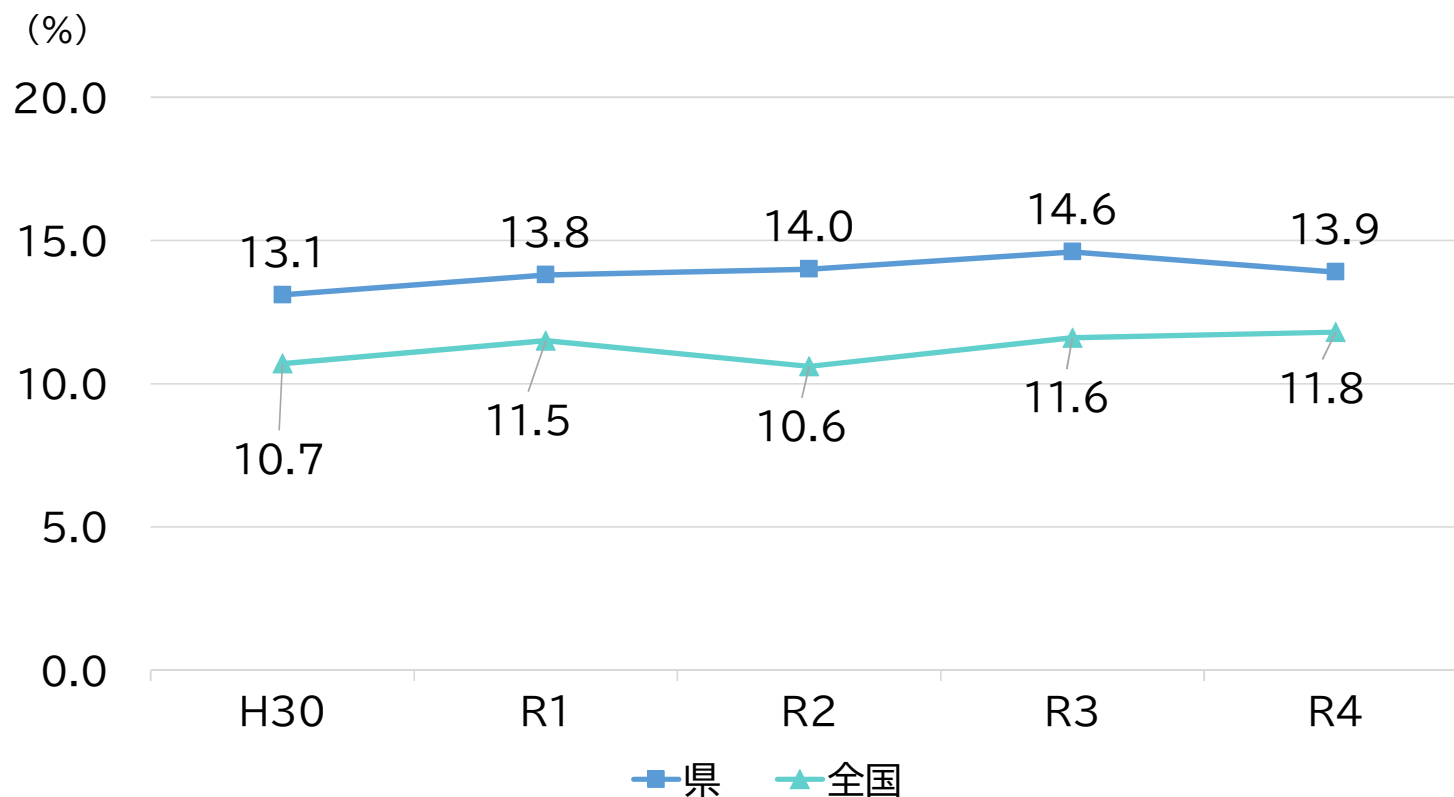
3 看護職員養成について ②令和5年度卒業生就業先

新卒看護職員の就業先は、病院が96%を占めています。



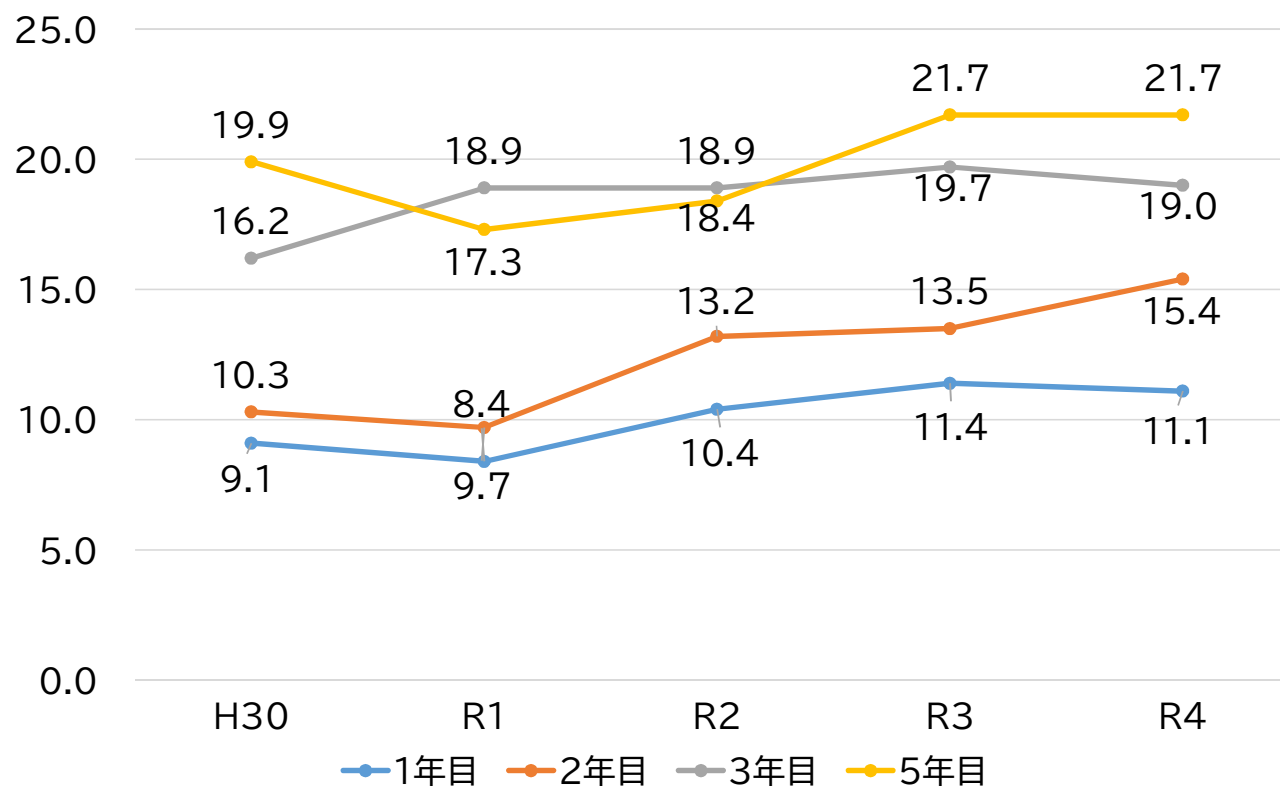
3 看護職員の離職率について ③看護職員(常勤)の離職率の推移

本県の看護職員(常勤)の離職率は、近年14%前後で推移しており、全国平均を上回っています。



3 看護職員の離職率について ④1年目から5年目の看護職員の離職率の推移

1年目(新卒)から5年目までの経験年数別離職率は、3年目以降の離職率が特に高い傾向にあります。



3 看護職員の離職理由 ⑤1年目から5年目の看護職員の離職理由

離職理由は、1年目(新卒)から3年目では「心身の不良」、4年目以降では、「心身の不良」に加え、「転居」や「結婚」等のライフステージの変化に伴う理由が主なものとなっています。

	経 験 年 数					全 体
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
1位	本人の心身の不良	本人の心身の不良	本人の心身の不良	転居	転居	本人の心身の不良
2位	勤務負担の重さ	家族の健康・介護	転居	本人の心身の不良	本人の心身の不良	転居
3位	看護職以外に転職	転居	結 婚	結 婚	結 婚	家族の健康・介護
4位	家族の健康・介護	看護職以外に転職	看護職以外に転職	看護職以外に転職	看護職以外に転職	結 婚
5位	職場の人間関係/転居	勤務負担の重さ	勤務負担の重さ	勤務負担の重さ	出 産 ・ 育 児	出 産 ・ 育 児

(出典)神奈川県「令和4年度看護職員就業実態調査(病院)」